

令和 7 年 8 月 6 日



大型クラゲ情報(令和 7 年度第 4 号)

概要

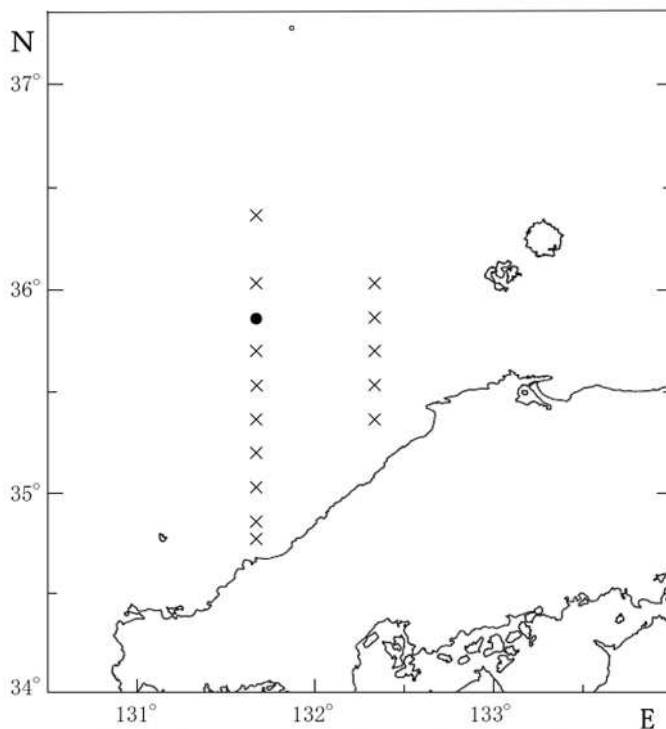
- 大型クラゲについて、少量ながら定置網で出現が続いています。
- 試験船「島根丸」による目視調査では、大型クラゲ 1 個体を確認しています。
- 対馬の状況から、今後、出現数は若干増える可能性があります。昨年並みの大量出現が起こる可能性は当面低いと考えられますが、今後も警戒を続けてください。

本県の出現状況（8 月 4 日現在）

- 7 月 25 日～8 月 2 日にかけて隠岐の島町、出雲市、浜田市の定置網に大型クラゲの出現がありました。出現数は 1 日 1 経営体あたり 1～9 個体でした。サイズ（傘径）は 20～100cm 程度です。

大型クラゲ目視調査の結果（7 月 28～29 日実施）

- 7 月 28～29 日に、試験船「島根丸」が大型クラゲの目視調査を行いました。この調査では、各調査点から 2 マイル航走する間において、試験船の両舷から目視にて大型クラゲの出現の有無を確認しました。
- 調査の結果、大型クラゲは調査点 1 カ所（下図●）のみで 1 個体を確認し、サイズ（傘径）は 50cm 以下でした。
- なお、昨年同時期の調査では 3 調査定点で計 6 個体の大型クラゲが確認されています。



島根丸による大型クラゲ目視調査：クラゲを確認しなかった調査点（×）と、確認した調査点（●）

- 漁業取締船「せいふう」が取り締まり業務に併せて実施している目視調査では、8月4日現在、大型クラゲは確認されていません。

漁業情報サービスセンター（JAFIC）からの情報提供（8月4日現在）

- 大型クラゲの来遊の先端が福井県に達しています。対馬～島根県は総じて少量ですが、広範囲で出現が確認されています。大量出現の予兆は見られませんが、今後広範囲で出現が予想されます。

※詳細は漁業情報サービスセンターHP（<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>）

対馬の状況から推定される、本県における今後の出現動向

- 対馬における定置網への大型クラゲの出現は7月中旬に一旦途切れていましたが、7月22～28日に再び出現しています。同期間における出現数は1日1経営体あたり2～100個体で、合計377個体でした。昨年の同期間における出現数の合計6072個体と比べると、大幅に少ない数です。
- 水産研究・教育機構による対馬海峡における目視調査でも、7月初めに一旦出現が途切れていましたが、7月中旬の調査から再び確認されるようになっていきます（下表参照）。ただし、この調査でも、昨年の調査と比較すると大幅に少ない出現数に留まりました。

対馬海峡の目視調査における大型クラゲ確認数の比較

年	7月初め	7月中旬	7月末
令和6年	2729	1414	290
令和7年	0	54	32

- 対馬において、一旦姿を消していた大型クラゲが再び確認されるようになったことから、本県においてもこれから出現数が若干増える可能性があります。ただし、昨年並みの大量出現がおこる可能性は、当面低いと考えられます。
- 平成21年など、かつての大型クラゲ大量出現時には、8月以降に出現量の大幅な増加が見られています。今後も警戒を続けてください。

➤ 大型クラゲの情報公開ページ（水産研究・教育機構）

https://www.fra.go.jp/shigen/marine_environment/kurage/kurage_archive.html

大型クラゲ対策のための底びき網や定置網の漁具改良マニュアル等、大型クラゲに関する情報が公開されています。ご参考ください。

➤ 大型クラゲを発見された方は、最寄りの地区の農林水産振興センターの水産業普及員か、下の発信者連絡先までお知らせください。

【発信者】島根県水産技術センター 海洋資源科 担当：石原
TEL: 0855-23-4806 FAX: 0855-23-2079
Email: suigi@pref.shimane.lg.jp